

富山大学 医学部同窓会報

2023. 第32号



富山大学 医学部同窓会報

2023. 第32号



表紙 「空へ」 ロウケツ染

加藤 千代

染色工芸家。太平洋美術展・新人賞(1982年)、松吉賞(1984年)、太平洋美術会賞(1998年)受賞。各地工芸画廊をはじめ、日本橋高島屋(東京)、現代工芸藤野屋(栃木県佐野市)などで個展を開催している。また、1994年とちぎの美術女流作家100人展にも選ばれる。1999年銀座松屋にて個展を開く。いずれも好評を博す。栃木[蔵の街]音楽祭協力委員として地域文化活動にも貢献。縁あって本同窓会誌の表紙絵を1997年より依頼している。栃木県岩舟町在住。

C O N T E N T S

4. 理事長挨拶 同窓会理事長 小児科学講座 教授 足立 雄一 (医学科 1回生)
5. 医学部設置50周年に向けて
- ポストコロナ時代の医療人材養成拠点の形成 -
医学部長 関根 道和 (医学科 14回生)
6. 看護学科の大学院NPコースについて
看護学科長 金森 昌彦 (医学科 3回生)
8. 〈新任教授就任挨拶・教室案内〉
病理診断学の教授に就任して 病理診断学講座 教授 平林 健一
9. 呼吸器外科学講座が新設されました！ 呼吸器外科講座 特命教授 土谷 智史
10. 教授就任挨拶
藤田医科大学医学部 病理診断学講座 教授 酒井 尚雄 (医学科 6回生)
12. ご挨拶 附属病院 周産母子センター新生児部門 教授 吉田 丈俊 (医学科 13回生)
13. 教授就任ご挨拶 附属病院 形成再建外科・美容外科 教授 佐武 利彦
14. 〈病院紹介〉
横田記念病院 院長 菅原 秀徳 (医学科 13回生)
16. 医療法人社団東方会 おおやま病院 理事長 院長 日置 将 (医学科 6回生)
17. 〈施設紹介〉
障害児入所施設・療養施設 あゆみの郷
～障害者になっても安心して暮らせる社会を目指して～
重度心身障害児入所施設・療養介護施設 あゆみの郷 施設長 田淵 英一 (医学科 6回生)
18. ウィズコロナの時代に即した感染症対応のシュミレーター実習
沼田 諒 (医学科 6年生)
20. 50周年記念事業に向けて 医学教育学講座 教授 高村 昭輝 (医学科 17回生)
21. 同窓生アンケートの御礼と結果のご報告
医師キャリアパス創造センター 高村 昭輝 (医学科 17回生)
22. 〈卒業生からのメッセージ〉
群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科 長谷川 豊 (医学科 8回生)
北陸予防医学協会 健康管理センター長 野村 邦紀 (医学科 8回生)
富山大学附属病院 脳神経内科 道具 伸裕 (医学科 18回生)
富山大学学術研究部 医学系地域看護学 城 諒子 (看護学科 14回生)
同窓会理事長 小児科学講座 教授 足立 雄一 (医学科 1回生)
-

-
25. <退官寄稿>
退官挨拶 同窓会理事長 小児科学講座 教授 足立 雄一 (医学科 1回生)
26. 長い間、大変お世話になりました
和漢診療学講座 教授 嶋田 豊 (医学科 1回生)
28. 退任にあたり思うこと
耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 教授 將積 日出夫 (医学科 1回生)
29. 定年前、何してる？
高知大学 呼吸器・アレルギー内科学 教授 横山 彰仁 (医学科 2回生)
30. 富山大学医学部の素晴らしい未来を夢見て 免疫学講座 教授 岸 裕幸
32. <計報>
小野武年先生を偲んで
学術研究部 (医学) 特別研究教授 西条 寿夫 (医学科 1回生)
35. 追悼文
コレージュ・ド・フランス Berthoz教授
カナダブリティッシュコロンビア大学 Phillips教授
オックスフォード大学 Rolls教授
37. 小野武年先生を偲んで 総合神経科学講座 教授 田村 了以 (医学科 5回生)
39. 恩師 小野武年先生を偲んで
重度心身障害児入所施設・療養介護施設 あゆみの郷 施設長 田淵 英一 (医学科 6回生)
41. 中村 哲郎君を偲ぶ 石切生喜病院 整形外科 副部長 楊 裕健 (医学科 13回生)
42. 中村 哲郎君を偲んで 駒井病院 内科 平松 範行 (医学科 13回生)
44. 第15回富山大学ホームカミングデー・プログラム
45. 令和4年度第41回富山大学医学部同窓会総会 議事録
49. 令和4年度富山大学附属病院関連病院長懇談会総会議事要旨
50. 令和4年度富山大学附属病院関連病院長懇談会理事会議事要旨
52. 令和3年度会計報告
54. 職掌分担・評議員一覧
56. 医学部人事消息
58. 令和3年行事報告・令和4年行事・令和5年行事予定
59. 編集後記
60. 会計からのお知らせ
-



理事長挨拶

同窓会理事長 小児科学講座 教授 足立 雄一(医学科 1回生)

日頃より富山大学医学部同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私は2015年に田淵英一先生が2代目の同窓会会長に就任されることに伴って3代目の理事長を拝命しました。それまで同窓会活動にそれほど積極的に参加しておりませんでしたので慣れないことも多く、同窓会事務局の林さんや同窓会理事の先生方、また大学事務の方々に大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

同窓会の活動を通して「母校とは何か?」ということの時々考えることがあります。もちろん卒業した大学が母校となるのですが、母校は単なる物理的な通過点か、それとも「〇〇大学のDNAを受け継ぐ」などと言われるように体の一部になっていくものなのか。私自身は、卒業後もそのまま大学に残って今に至りますので、自分の人生と母校は切り離せないものになっています。しかし、多くの同窓生の皆さんは、卒業後すぐにあるいはある時期から大学を離れてそれぞれの人生を歩んでおられるので、そのような方々にとっての「母校」とはなんでしょうか。母校とは自己のアイデンティティ(identity)を形成する上で大事なものと思っています。アイデンティティとは、「自分は唯一無二の自分である」と認識することであり、そのためには自分の存在の拠り所が必要と言われていました。母校と言えばそれぞれの小中高も母校ですが、医学・医療に携わるという自分の夢を叶えてくれた医学部での日々は、アイデンティティ形成においてとても重要な時期であったと思います。

その母校をしっかり支えていくのが同窓会の使命だと思います。過去の同窓会報を見ますと、私が理事長に就任した時のご挨拶で、同窓会の役割として「卒業生の皆さんが母校と、そして卒業生同士とつながりを持てる環境を作ること、そして、寄付活動などを通して母校をさらに発展させること」の二つをあげていました。個人的にはいろいろと努力はしてきたつもりではありますが、途中コロナ禍などもあって思うほどの成果があげられなかったと反省しております。

私事になりますが、今年度で大学を定年退官しますので、理事長を後任に引き継ぐ予定です。8年間という短い期間でありましたが、お世話になった皆様には心から感謝申し上げます。今後は、大学から少し距離をおいた視点で同窓会活動を支援していきたいと考えております。同窓会の皆様には、引き続きご理解とご支援のほどよろしく申し上げます。



医学部設置50周年に向けて －ポストコロナ時代の医療人材養成拠点の形成－

医学部長 関根 道和(医学科 14回生)

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年も新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた1年となりましたが、医療従事者をはじめとして多くの方々のご尽力により、出口戦略の議論ができるようになったことを、大変喜ばしく思っております。

さて、医学部は、1975年に富山医科薬科大学医学部として設置されてから、間もなく50周年を迎えます。この間、「地域と世界で活躍できる医療人の養成」をミッションとして、医師3958名、看護師1707名、保健師1859名、助産師128名を輩出してきました。卒業生は、医療、保健、教育、研究、行政の各領域で活躍しています。

医学部の近況として、医学科では、富山大学を代表校、新潟大学を連携校とする医療人養成事業が、文部科学省の令和4年度大学教育再生戦略推進費「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」に選定されました(令和4年度補助額:約8千万円、補助期間:7年間)。この事業では、両大学の教育ノウハウを共有して、臨床医学教育や社会医学教育をさらに充実させるとともに、オンライン会議や遠隔医療等に対応可能な情報通信技術(ICT)に関する教育を実施することで、地域を総合的に守る医師を養成します。また、医学科は、国際基準に則った医学教育を実施しているところですが、国際認証団体である日本医学教育評価機構(JACME)が実施する更新審査を受審しました。

看護学科では、高度な専門性を持つ看護師の養成を目的として、大学院総合医薬学研究科の看護科学プログラムにおいて、診療看護診療看護師(ナース・プラクティショナー(NP))コースを開設しました。診療看護師とは、「医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」(日本NP教育大学院協議会)のことで、大学院修了により診療看護師の受験資格を取得することができます。また、日本看護協会が定める専門看護師の受験資格も取得可能です。

ポストコロナ時代の国際的にも通用する医師や看護師等を養成することにより、医学部のミッションである「地域と世界で活躍できる医療人の養成」を達成したいと考えています。

医学部設置50周年に向けて、医療人教育のさらなる充実を目的とした寄付金事業の実施など、各種事業の実施を検討しています。今後とも、御支援と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



看護学科の大学院NPコースについて

看護学科長 金森 昌彦(医学科 3年生)

看護学科の大学院は設立されてちょうど四半世紀を迎えており、修士課程220余名を輩出しました。また新規の博士課程においても3名の修了生を送り出すことができ、卒後教育が充実しつつあります。名称も「総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム」と変わり、医薬看合同での大学院教育に改組されました。教育形態はその時代背景と社会需要により大きく変わっていきます。いつの時代でも変革についていくことは時に予期せぬ事態も多く、順風満帆には行かないのですが、大きく流れ始めた川の勢いは止められず、私たちはそれに耐えうる船を作り、舵取りをしていくことになるでしょう。

しかし、パンデミックの状況にある中、たとえ社会的な対応は変わっても、富山県で毎日数百人の感染者が出続ける状況に、医療者は立ち止まりたくなるのも当然で、社会の中で医療を行っている同門の看護師さんたちが、自らの研鑽のために現場の労働を止め、自らの経済的負担で新たな門戸を叩くことに躊躇される状況はよく理解しております。

とは言え、いつの時代でも誰にとっても、過ぎる時間の速さは光陰矢の如しですね。自らの足を半歩進めなければ船に乗れないことは確かですし、立ち止まれば淘汰されていくかもしれません。そこで、この紙面では令和5年から募集する新たな流れ(NPコース)についてご案内させていただきます。

富山大学は昨年、日本NP教育大学院協議会の13番目のメンバーになりました(国立大学では3番目)。このコースを修了すると「診療看護師(NP)」のための受験資格が得られます。プライマリ・ケア領域とクリティカル・ケア領域の2つの領域が認定されておりますが、それぞれ「在宅・慢性期領域」パッケージを中心にした7区分12行為の研修を含む慢性期領域コース、「外科基本領域」パッケージを中心にした12区分20行為の研修を含む急性期領域コースになっております(特定行為区分とその具体的行為については表でご確認ください)。もちろん修士課程にありますので、研修部分の他にも大学院共通科目やNP教育のための科目も含まれており、慢性期領域コース66単位、急性期領域コース71単位という盛りだくさんの内容になっています。

NP教育を学んでいくことは、学ぶ者と教える者にとって、大変なエネルギーを要することですが、少子高齢化と医師不足が進む中で、医療の中核を担う看護師さんにとって、医療行為を移

行していく取り組みが医療崩壊を防ぐ一つ的手段であると厚生労働省も日本看護協会も考えているのです。

最後になりますが、コロナ禍が未だに続く中、新卒の院生より社会人の多い富山大学大学院では未だ次年度の定員を満たしていません。看護学科の大学院にはNPコース以外にも既存のCNS(専門看護師)コース、研究者コースもあり、これらを新たな半歩の機会と捉え、令和5年の入学(試験は年2回あります)を考えてみませんか。新たな学びの中に、まだ見ぬ自分を発見できるかもしれません。

富山大学大学院で実施する特定行為区分

	区分	特定行為	慢性期	急性期
1	呼吸器(気道確保に係るもの)	経口(鼻)気管チューブの位置の調整	●	●
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)	侵襲的陽圧換気の設定の変更		●
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
		人工呼吸管理中の鎮静剤投与の調整		
		人工呼吸器から離脱		
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)	気管カニューレの交換	●	
4	ろう孔管理関連	胃(腸)瘻カテーテル・胃瘻ボタンの交換	●	
5	栄養に係るカテーテル管理	中心静脈カテーテルの抜去		●
6	創傷管理関連	褥瘡・血流のない壊死組織の除去	●	●
7	創部ドレイン管理関連	創部ドレインの抜去		●
8	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血		●
9	透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析		●
10	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液投与量の調整	●	●
		脱水症状があるものに対する輸液補正		●
11	感染に係る管理関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与		●
12	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	●	●
13	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤投与量関連		●
14	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミン投与量の調整	●	●
		持続点滴中のNa, K, Cl投与量の調整		
		持続点滴中の降圧剤投与量の調整		
		持続点滴中の糖質輸液・電解質輸液投与量		
		持続点滴中の利尿剤投与量の調整		
	区分数		7区分	12区分
	行為数		12行為	20行為